

原松原線補助都市計画街路工事の変更契約締結について

(事業概要)

都市計画道路原松原線は、彦根市松原町二丁目～彦根市原町(国道306号)を東西に結ぶ、約4.08kmの都市計画道路である。

当該事業は、国道306号における、名神高速道路彦根ICから流出・合流する車両と相まって、彦根市原町地先から国道8号外町交差点に向けて北進する車両により、慢性的な渋滞を起こしている。

そこで、安全で円滑な通行を確保するため、国道8号古沢町交差点から国道306号原町交差点までの区間においてバイパス整備を行い、そのうち、本工事では、トンネル工事を実施するものである。

(工事概要)

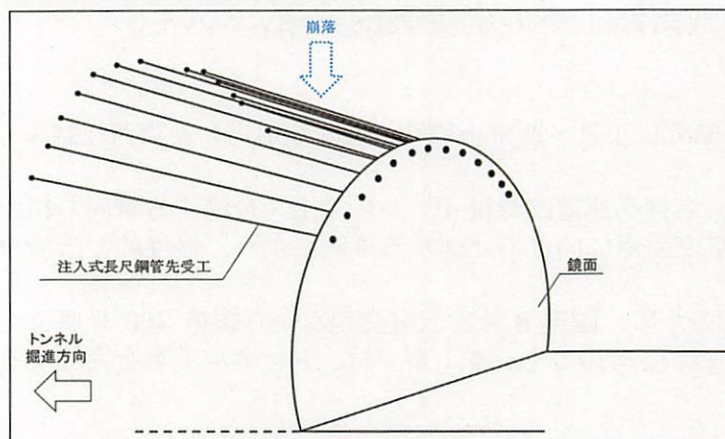
- | | |
|-----------|---|
| 1. 工事名 | 平成30年度 第1-1号 原松原線補助都市計画街路工事 |
| 2. 施工場所 | 彦根市原町他 |
| 3. 概要 | 施工延長 1,233m
トンネル工 1,135m、明かり部道路工 1式、仮設工 1式 |
| 4. 変更理由 | トンネル掘削面における崩落防止対策の追加、重金属含有土の処分の追加 |
| 5. 工期 | 平成31年3月18日～平成34年5月31日 |
| 6. 契約金額 | 変更前：5,596,766,800円
変更後：6,552,065,100円 |
| 7. 契約の相手方 | 大阪府大阪市西区西本町一丁目13-47
戸田・昭建・金子建設工事共同企業体
代表者 戸田建設株式会社大阪支店
常務執行役員支店長 三宅 正人 |

<位置図>



<補助工法について>

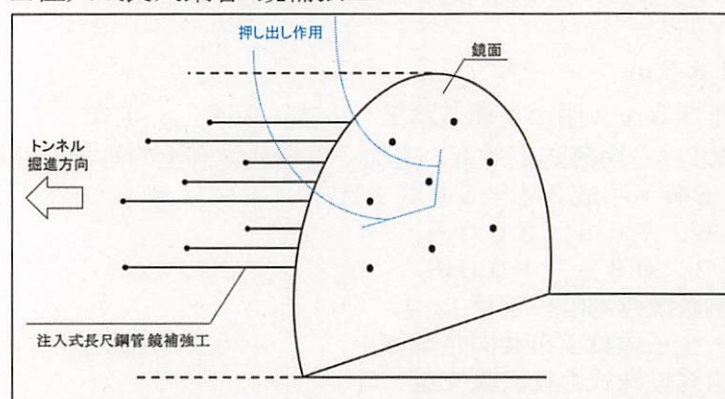
■ 注入式長尺鋼管 先受工



■ 注入式長尺鋼管先受工

掘削時の崩落と、それに伴う地表面の沈下を防止するため、前方の天井部に5m以上の鋼管等を打設し、硬化剤を注入して、前方の天井部をあらかじめ補強するもの。

■ 注入式長尺鋼管 鏡補強工



■ 注入式長尺鋼管鏡補強工

掘削により露出した鏡面からの崩落・押し出しを防止するもの。

掘削した天井の補強や、次区間に上記工法等を施工する間、作業員の安全を確保するとともに、地表面への影響を防止する。

<重金属含有土について>



図) 重金属含有土の発生状況〔左：鏡面の状況、右：黄鉄鉱を含む岩塊〕※囲った部分で黄鉄鉱を確認

当工事区間においては、破碎帯に黄鉄鉱が多く存在している傾向が認められ、黄鉄鉱は自然由来のヒ素と結びつきやすいことから、専門家の意見も踏まえ、破碎帯において、基準値を超えるヒ素を含む土砂が発生するものと考えていたが、トンネルの掘進に伴い、破碎帯以外からも基準値を超える重金属含有土が発生することが判明し、設計変更の必要が生じた。

<工事の進捗>

令和2年5月末時点：終点側（原町交差点側）から約200m

（掘進：2～3m/日）〔※岩質や補助工法の有無により変動する〕